

# 高岡市ロボットプログラミング競技大会 ビギナー競技 競技ルール

## シュート部門 (令和8年3月7日版)

- 1 ロボットの機材、材質、プログラミング環境は問わない。
- 2 ロボットのサイズはスタート時点で、縦 25cm、横 25cm、高さ 25cm に収まることとする。
- 3 シュート部門では、別に定めるコースシートを用いる。コースシートは参加者が印刷し、準備しなければならない。なお、コースシートは A4 用紙 9 枚か、それと同等サイズ of 用紙に印刷するものとし、用紙の種類は指定しないものとする。なお、大会当日及び試走会では事務局が用意する。
- 4 コースの各エリアの呼称については、後述のコースマップ図を参照のこと。

### 5 シュート部門

- a 競技では、涙型（雨晴）からコース左下の青丸（福岡）上に設置されたプラコップにシュートする。
- b 得点はプラコップに入ったピンポン玉 1 個につき 1 ポイントとする。
- c 制限時間 30 秒の間に固定されたプラコップ（口径 80mm 以下×高さ 90mm 以下とする）にピンポン玉を投げ入れた得点を競い合う。ピンポン玉は事務局にて競技開始時に 20 個を用意する。
- d ロボットの接地面は涙型（雨晴）から用紙中央側の黒線を越えてはならない。ただし、上空は構わないものとする。
- e ロボットは投げる、打ち出すなど、ピンポン玉に力を加える動作をしなければならない。ロボットの一部分がプラコップに触れた場合の得点は無効とする。
- f 同点となった場合は、サドンデス形式で試技を行う。交互に一投ずつシュートし、先に失敗した方を下位とする。

例

	1 投目	2 投目	3 投目
選手 A	○成功	○成功	○成功 
選手 B	○成功	○成功	×失敗

- 6 応募者多数の場合は令和8年3月7日（土）に行われる試走会にて予選を行う場合がある。  
その場合は該当者に別途通知する。
- 7 最終的な結果は、令和8年3月20日（金・祝）に開催する令和7年度高岡市ロボットプログラミング競技大会での試技で決定することとする。

<コース上の各エリアの呼称について>

